

ヨシナカ新聞

10月号
発行所
株式会社ヨシナカ
大阪府柏原市円明町
1000番25号

「ヨシナカ新聞」復刊について

2023年12月号を最後に廃刊しました「ヨシナカ新聞」ですが、本年10月号より復刊することにいたしました。

思っていた以上に当新聞を楽しみにして下さっ

ていた方が多かったこと、弊社が来年10月から創立60年目(60期)を迎えることから、少しでも弊社のことを思い浮かべていただけたらと思い、復活させていただくことにしました。

廃刊してから約2年のブランクがあり、自分自身、満足のいくものが作れるかどうか不安がありますが、頑張りますので、温かい目で見守ってくださると幸甚です。どうぞ宜しくお願いいたします。

今年は暑かったあ

今年は6月頃から最近にかけて例年と比較して暑かった印象がありました。自分の体感温度はどうだったのか、大阪府の年度別月別平均気温を調べてみました。列(縦)が年度(一番右端の列は1960年度と赤字の差)、行が月別です。赤字は一番気温が高かった月です。

こうしてみると、5月以降はやはり暑かったんだと今更ながら実感したのと同時に春と秋が短くなって来ていると憂いを感じざるを得ません。

| 西暦 月 | 1960 | 2001 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 1960 との差 |
|---------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------------|
| 1月 | 5.1 | 5.2 | 8.6 | 6.2 | 5.6 | 6.5 | 7.1 | 6.8 | 3.5 |
| 2月 | 6.8 | 6.6 | 8.0 | 8.7 | 5.5 | 7.0 | 8.4 | 5.3 | 1.9 |
| 3月 | 9.7 | 9.7 | 11.4 | 12.2 | 11.4 | 13.0 | 9.5 | 10.9 | 3.3 |
| 4月 | 13.4 | 15.5 | 13.7 | 15.5 | 16.8 | 15.9 | 17.8 | 15.9 | 4.4 |
| 5月 | 18.7 | 20.6 | 20.8 | 20.0 | 20.0 | 20.0 | 19.4 | 20.1 | 1.4 |
| 6月 | 22.4 | 24.0 | 24.9 | 23.9 | 24.4 | 23.8 | 23.9 | 25.4 | 3.0 |
| 7月 | 27.5 | 29.2 | 26.0 | 27.9 | 28.4 | 28.9 | 29.6 | 30.2 | 2.7 |
| 8月 | 28.3 | 28.8 | 30.7 | 28.1 | 29.5 | 29.9 | 30.4 | 30.8 | 2.5 |
| 9月 | 24.6 | 24.4 | 25.8 | 24.8 | 26.2 | 27.9 | 28.6 | 28.1 | 4.0 |
| 10月 | 17.9 | 19.5 | 18.7 | 20.3 | 19.0 | 19.3 | 22.1 | 22.1 | 4.2 |
| 11月 | 13.3 | 13.2 | 14.7 | 14.1 | 15.2 | 14.4 | 15.1 | | 1.9 |
| 12月 | 7.1 | 8.3 | 8.7 | 8.8 | 7.9 | 9.3 | 8.6 | | 2.2 |

作表：2025年10月27日

2.9

最後の砦が陥落か

地球上で最も人命を奪う生物は？と聞かれたら、皆さん何と答えますでしょうか。最近、日本で頻繁にニュースに登場する熊でもなく、毒蛇でもありません。実は人間だという哲学的な話でもありません。

正解は「蚊」で、マラリアなどの媒介により毎年約70万人の命が奪われています。

この蚊、これまで「地球上で蚊がいないただ一つの国」とされてきたアイスランドで見つかったそうで、男性が見慣れないハエを捕獲して、専門家に確認してもらったところ、ハエではなく、いない筈の蚊であることが判明しました。

アイスランドは人口約38万人、国土の約1割が氷河、年間平均気温約5℃。凍結と融解を繰り返す気候です。川や水溜まりで成長する蚊は、アイスランドの気候条件では繁殖は非常に困難とされていましたが、今年の記録的熱波を背景に、地球温暖化が原因ではという見方をBBCが紹介しました。しかし、納得しやすい一方で確証はありません。AFP通信は温暖化の影響ではないとというコメントを出しています。

専門家の指摘では蚊の種類によっては寒冷地でも繁殖は可能で、氷の窪みにできた水たまりでもボウフラは育つそうです。極寒の地で

あるアラスカでは夏に蚊が多く発生し、トナカイが蚊に血を吸われて失血死しているそうです。

アイスランドに蚊がいなかった理由は「地理的隔離(到達困難)」の可能性が高かったのですが、最近では世界的な航空機不足と渡航需要増で、1機が多くの国を頻繁に巡る傾向が強くなり、客室や貨物室に蚊が侵入、移動する機会が拡大しているのではないかとされています。

定着するかどうかは来年の春にはっきりするそうです。

(TBSラジオ「安住紳一郎の日曜天国」より)



弊社の新しいステンレス鋼について

弊社では富山工場で独自鋼種を使用し製造しております。

- 1. 独自鋼種 HT-1
- 2. 使用工場：富山工場
- 3. 成分：右表の通りです。
- 4. 硬度：焼入後HRC58以上(高硬度)
- 5. Mo添加により耐食性UP
- 6. V(バナジウム)添加により韌性値UP

- 6. 製品サイズ：厚0.1~1.0mmx幅Max400mm
- 7. 特徴：SUS420J2と比較して硬くて、サビにくくて、割れにくい。

- 8. 用途：カッターの刃、スクレーパー、厨房関連等

| | | C | Si | Mn | P | S | Cr | Mo (モリブデン) | V (バナジウム) |
|----------|------|---------------|-------------|-------------|--------------|--------------|-----------------|---------------|--------------|
| SUS420J2 | 成分規格 | 0.26~ 0.40 | Max 1.00 | Max 1.00 | Max 0.040 | Max 0.030 | 12.00~ 14.00 | - | - |
| HT-1 | 成分例 | 0.46 | 0.52 | 0.33 | | | 14.32 | 0.60 | 添加 |